

優秀賞

T2 チームは、モデル検査の省力化に取り組みました。モデル検査の典型的な検査対象システムに、状態遷移表や UML ステートマシン図で表現されているものがあります。この場合のワークフローを分析することで、自動化が可能な作業を特定し、これを実現するためのツール群を開発しました。具体的には、モデル検査器 NuSMV の入力となるソースを自動生成するツール、検証に用いる時相論理式を作成するツール、NuSMV から出力された反例をシーケンス図に変換するツール、および、これらを統合する GUI です。まず、実際に動作するツールを作成したことが評価できます。さらに、これらが単なる自動化ツールの寄せ集めではないことが重要です。特定の検証パターンにおいて、モデル作成から反例解析までの一連の作業を、NuSMV のコードを意識することなく、一段抽象度の高いレベルで実施できるように設計されています。これによって、トータルの検証時間を短縮するだけでなく、検証に携わる技術者に要求する知識レベルを下げるという効果も得られています。

以上を高く評価して優秀賞を授与します。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一